

市民の日常生活における移動実態・ニーズ調査のまとめ

(1) 調査概要

概要	住民アンケート調査	バス利用者アンケート調査
調査目的	住民アンケート調査やバス利用者を対象にした調査を実施し、鳥取市における公共交通ネットワークの将来像検討のための基礎資料を得る	
調査方法 調査対象	20歳以上の鳥取市民の中から住民基本台帳をもとに、3,300人を無作為に抽出 <配布・回収方法> 郵送配布・郵送回収	主要な停留所にて、バスを待っている利用者に対し、調査員がアンケート調査表に沿って、利用状況や改善要望等を聞き取り <主要停留所（5箇所）> 鳥取駅バスターミナル県庁日赤前（とりぎん文化会館）、用瀬駅、河原総合支所、青谷駅
調査時期	2019年2月25日（月）～3月8日（金）	2019年2月27日（水）、3月2日（土）
回収票	1,030部（回収率：31.2%）	751部

(2) 目的別の移動実態（住民アンケート調査より）

※各地域（10地域）：市中心部、中心部以外の旧市域、国府、福部、河原、用瀬、佐治、気高、鹿野、青谷

目的	移動の頻度	移動の目的地	利用交通手段
通院	<ul style="list-style-type: none"> ● 通院をしている回答者は全体のおよそ6割 ● 68.8%が月に1回程度の頻度で通院 ● <u>15.8%が週1回以上の頻度で通院</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 46.5%が鳥取市中心部、37.8%が中心部以外の旧市域に移動 ● <u>市中心部、中心部以外の旧市域、青谷、鹿野は同じ地域内で通院している人の割合が高い（いずれも50%以上）</u> ● 同じ地域内で通院している人の<u>各地域（10地域）の平均は45.4%</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 59.0%が自家用車を自分で運転して移動 ● <u>19.2%が送迎により移動</u> ● バス（乗合タクシーを含む）で通院している人の割合は、<u>各地域（10地域）の平均で15.1%</u> ● <u>用瀬のバス（乗合タクシーを含む）利用者の割合が36.8%で他地域よりも高い</u> ● タクシーを利用している人の割合は、<u>各地域（10地域）の平均で6.5%</u> ● <u>用瀬と青谷のみタクシーを利用している人の割合が10%を超えている。</u>
買物	<ul style="list-style-type: none"> ● 買物をしている回答者は全体のおよそ9割 ● 93.2%が週に1回以上の頻度で買物をしている ● <u>通院に比べて外出頻度が高く、22.6%が毎日買物をしている</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 48.2%が鳥取市中心部、36.9%が中心部以外の旧市域に移動 ● <u>市中心部、中心部以外の旧市域、用瀬、青谷は同じ地域内で買物する人の割合が高い（いずれも60%以上）</u> ● 同じ地域内で買物をしている人の<u>各地域（10地域）の平均は42.0%で通院と同程度</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 71.8%が自家用車を自分で運転して移動 ● 16.6%が送迎により移動 ● <u>バス（乗合タクシーを含む）を利用して買物をする人の割合は、各地域（10地域）の平均で9.3%</u> ● バス（乗合タクシーを含む）利用者の割合が10%を超えている地域は<u>市中心部、用瀬、佐治</u> ● タクシーを利用している人の割合は、<u>各地域（10地域）の平均で1.1%</u>

通勤 通学	<ul style="list-style-type: none"> ● 通勤・通学をしている回答者は全体のおよそ4割 	<ul style="list-style-type: none"> ● 32.4%が鳥取市中心部、47.8%が中心部以外の旧市域に移動 ● 地域内で通勤・通学している人の割合が40%を超えているのは、<u>鳥取市中心部、中心部以外の旧市域、青谷</u> ● 同じ地域内で通勤・通学している人の<u>各地域（10地域）</u>の平均は26.1% 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>81.3%が自家用車を自分で運転して移動</u> ● 送迎は9.9%で通院や買物に比べて低い ● バス（乗合タクシーを含む）を利用して通勤・通学する人の割合は、<u>各地域（10地域）</u>の平均で5.9% ● タクシーによる通勤・通学は全体で0.2%
----------	--	---	---

(3) 免許返納者の公共交通利用状況（住民アンケート調査及びバス利用者アンケート調査より）

質問項目	市民全体の回答	バス利用者の回答
免許証返納に関する状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 免許返納者の37.5%は、返納後も公共交通の利用回数が変わっていない ● 利用回数が増えた人は<u>35.4%</u>で減った人は<u>27.1%</u>より多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● バス利用者のうち、免許証返納者は1割程度で<u>バス利用者の半数以上（54.1%）は元々運転免許証を持っていない</u>

(4) 公共交通に関する意見・要望等（住民アンケート調査及びバス利用者アンケート調査より）

質問項目	市民全体の回答	自由に使える車を持っていない人や公共交通利用者の回答
不便だと思う点	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>61.8%が「運行本数が少なく待ち時間が長い」と回答</u> ● 43.5%が「出かけたときにいい便が運行していない」と回答 ● 「運賃が高い」は23.0%で運行本数の項目に比べると割合は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由に使える車を持っていない人の54.4%が「運行本数が少なく待ち時間が長い」と回答 ● バスや鉄道を日常的に利用している人の<u>65.5%が「運行本数が少なく待ち時間が長い」と回答</u>
利用を増やすための改善（運行本数や運行時刻）	<ul style="list-style-type: none"> ● 70.0%が「運行本数を増やす（増便）」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由に使える車を持っていない人の<u>89.8%が「運行本数を増やす（増便）」と回答</u> ● バス利用者の45.5%が「運行時間を短くする（増便）」を回答
利用を増やすための改善（乗り継ぎ）	<ul style="list-style-type: none"> ● 61.8%が「駅やバス停の駐車場や駐輪場の整備」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● バスや鉄道やバスを日常的に利用している人の<u>57.6%が「駅やバス停の待合環境の改善」と回答</u>し、33.3%が「駅やバス停の駐車場や駐輪場の整備」と回答
公共交通が改善された場合の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> ● 69.8%が「公共交通を利用したい」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由に使える車を持っていない人の<u>79.6%が「公共交通を利用したい」と回答</u>

(5) 移動手段の維持・確保に対する意識（住民アンケート調査より）

質問項目	市民全体の回答	地域別の回答
将来の市における公共交通のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ● 27.2%が「補助金が多額になっても、引き続き現在のサービス水準を維持すべき」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿野では、「利用者が少ないところは廃止や減便も仕方ないと思う」が20.0%で「補助金が多額になっても現在のサービス水準を維持すべき」（8.0%）より多い
公共交通空白地有償運送への参画意向	<ul style="list-style-type: none"> ● 65.5%が「自分にできることは特になし」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河原と鹿野では、およそ2割の人が「運転者（ドライバー）として協力できる」と回答し、他の地域に比べて割合が高い